

木木是好日

きぎ・これ・こうじつ

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。日頃の取り組みの様子やその思いを、皆さんにお伝えします。

Vol. 10 「木のはなし」

地域おこし協力隊10カ月目。まだまだ暑い日が続きますが、桑野山貯木場も製材や加工の依頼が増え、少しバテ気味の日もありますが、木木是好日です。

木材自給率

ニューズ等で食品自給率という言葉を聞いたことあるかと思えます。

一方、あまり取り上げられませんが、木材自給率というものもあります。林野庁のデータによると最低だった平成12年が18.8パーセント。平成28年で34.8パーセントとなっています。

近年、少しずつ増えているということですが、まだまだ輸入材が多く消費されている訳です。

SPF材

ホームセンターで売られている材は杉や檜（ヒノキ）も多少ありますが、輸入材の2×4（ツーバイフォー）や2×6（ツーバイシックス）など欧米のインチ規格の材が多く売られています。

木の種類はSPF材とかホワイトウッドなどと書かれています。安価で、木の肌が白く、柔らかく加工しやすいというところで、よく使われています。

ます。

これらの木は何の木だと言いますと、唐檜（トウヒ）や松や樅（モミ）などのマツ科の木です。唐檜は檜（ヒノキ）という字があてられています。が、高度成長期に国内で足りなくなった檜の代替品として使われたことで、この名前が定着したようです。

樅（モミ）の木

以前、桑野山貯木場に樅（モミ）の木が入ってきたことがありました。

地元の方が「以前は伐り旬に伐った樅（モミ）は卒塔婆を作る業者が買っていった」と教えてくれました。

その他の樅（モミ）の使い道として思い浮かべるのが、かまぼこ板ですね。

ある新聞の記事によると現在、卒塔婆の材料はドイツトウヒが主流だそうです。

色々な名前前で呼ばれるので、ややこしいのですが、これも先ほどのホームセンターでよく売られているホワイトウッドのことで、かまぼこ板と同じくこの材が使われています。

檜（ヒノキ）

町内でふと山に目を移せば、たくさんのお木々が見え

ます。

毎日、杉や檜（ヒノキ）を見て、触っていると本当に魅力のある材だと思います。

以前、ある外国の方との話の中で「日本の山にはたくさん使われない木があって、もったいない。檜（ヒノキ）のように、あんなに香る木は私の国にはない」と言われ、今でも印象に残っています。

その方の国も林業が盛んで、日本をはじめ海外に木材を輸出しています。

個人の力では大きな流れはなかなか変えることはできませんが、小さな選択でも、積み重なれば何かが変わるのかもしれない。

もしちよっとした補修や工作などで材料を購入するとき、国産の材料にも目を向けていただけたらと思います。

地元の木

そこで、まずは町内の木材自給率を少しずつ上げていけたらと考えています。

DIYやちよっとした工作などの材料から。現在、そんな材の製材をしています。

製材所のような設備や木材乾燥機があるわけでもないの、時間はかかりますが、選択肢のひとつとして、町内の方に使っていた材料を

作っています。

もう少しお待ちください。

夏休み

学校が夏休みに入ると、工作体験などの依頼があります。

時間の関係で、箸づくりなど簡単なものになってしまいうちが地元の材に触れてもらえる機会として、毎回楽しみにしています。



●製材した檜の板、良い香りがします

●鈴木 健二 すずき・けんじ

神奈川県逗子市出身。東京、静岡の石油販売会社に勤務したのち、個人で間伐と木工の仕事を開始。協力隊として、桑野山貯木場で製材・木工機械の管理と、地域の木材の利活用促進に向けた「木」や「森林」に携わる活動に取り組む。最近の関心は、古民家や農業のほか、少し昔の時代のくらしや道具など。前居住地は静岡市清水区。

